



りんくだより

2019/10/1 第18号

ご挨拶

実りの多い秋となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。就職が決まってメンバーも入れ替わり、新鮮な気持ちで各々課題に取り組んでおります。今月号では『障がいのオープン・クローズについて』と『りんく初のOB・OG会』をご紹介致します。



障がいのオープン・クローズについて

就職には、障がいのあることを企業に開示して就職するオープン就労と、企業に非開示で就職するクローズ就労があります。今回、就労にあたって私たちが障がいをオープン・クローズにする際、就労前後のメリット・デメリットについて考えました。資料を参考にして、実際の声もピックアップしたので、読者の方々にも、参考にさせていただければ幸いです。

[オープンにした場合（障がいを企業に伝える）]



メリット

- ・未就労期間のブランクの説明が不要
- ・近場で勤務地を探しやすい
- ・りんくからの支援が受けられる
- ・企業から必要な配慮が受けられる



デメリット

- ・求人数が少ない
- ・給料が最低賃金に設定されることがある
- ・障がいについての理解が得られない
- ・同僚等がいる場合もある



[クローズにした場合（障がいを企業に伝えない）]

メリット

- ・採用率・求人数が多い
- ・障がいについて周囲に知られなくてすむ
- ・雇用形態が多様
- ・給料に差が付きにくい



デメリット

- ・症状を周りの人に隠すのは不安
- ・有給休暇が取りにくい
- ・体調に合わせて働けない
- ・通院・服薬に気を使う
- ・ノルマ残業を他の社員同様に求められることもある



[実際にオープンで働いた人の感想]

水を飲む為の短い離席や勤務時間帯の配慮をしてもらいました。同僚など一緒に働くほとんどの人にはクローズでしたが、「自分の症状を知った上で受け入れてくれた」「いつ相談しても耳を傾けてくれる上司がいる」という事実が何より心強かったです。

[実際にクローズで働いた人の感想]

通院しながらも会社に通いました。服薬の時に周りに悟られないようにするのが、一番苦勞しました。しかし、恵まれた環境で働ける職場は、個人的にもやりがいを感じました。

(参考) りんく卒業生の内訳：オープン 77%、クローズ 23%

りんく初のOB・OG会

開会



7月中旬、りんくで初めてのOB・OG会が行われました。現在それぞれ製造業、検査サービス業で活躍されている2名の卒業生にお越しいただき、講演や茶話会など色々な形式で現りんくメンバーと交流しました。

講演では、就職までの経緯や仕事のやりがいなど様々なお話がありました。りんくで身に付けた「感情のコントロール方法」や「アサーティブ（自分も相手も大切に）コミュニケーション」は、卒業後も役に立っているそうです。

講演



茶話会



茶話会では、近況や思い出話に花を咲かせました。中には初対面のメンバーもいましたが、終始リラックスムードで楽しく交流することができました。

参加メンバーの感想

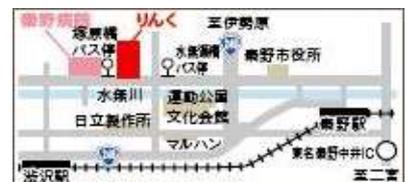
- ・就職活動のイメージが具体的になって、意欲が増しました。
- ・OB・OGのりんく在籍時の活動と現在自分がりんくで行っている活動の方向性が似ていたので安心しました。
- ・久しぶりにOB・OGに会えて楽しかったです。



編集後記

今号では、「障がいのオープン・クローズについて」と「りんく初のOB・OG会」を取り上げました。就職活動の中でりんくメンバーが一度は通るオープン・クローズの選択。先輩たちの声も参考にして、自分に合った働き方を選びたいですね。猛暑の時期の記事作成でしたが、皆集中して取り組み完成させることができました。今後とも応援のほど、よろしくお願いいたします。編集メンバー一同

医療法人社団 秦和会 就労移行支援事業所 りんく
所在地：神奈川県秦野市三屋 124 秦野病院ケアセンター内
TEL：0463-75-6308 FAX：0463-75-6303
URL：<http://www.hatanohp.or.jp>



※りんくだよりの作成はプログラム活動の一環として、スタッフの監修を経て、紙面の企画から発送までを全て利用者の皆様で行っております。